

## 地球惑星科学連合大気海洋・環境セクションよりのお知らせ

昨年12月に気象学会メーリングリストでお知らせしましたように地球惑星科学連合（以下連合という）は、2008年12月1日をもって新しい法人法のもとで、一般社団法人として活動を開始し、2009年1月9日から個人会員の登録を開始しました。

連合は法人化を機に、従来の地球惑星科学関連学協会の窓口としての役割から、地球惑星科学の活動主体への転換を図ろうとしています。新しい連合は、会員登録をした個人会員と団体会員登録をした学協会によって構成されます。このうち、個人会員は会員登録時に6つの登録区分（宇宙惑星科学、大気海洋・環境科学、地球人間圏科学、固体地球科学、地球生命科学及び地球惑星科学総合）のひとつを選んで登録し、各登録区分から登録会員数に応じて、法律上の法人の社員であり総会における議決事項や理事の選挙の権利を持つ代議員を選出します。

一方、団体会員はそれぞれ1名ずつの代議員を選出します。今後、会員登録を受けて代議員などの選挙が行われ、本格的な理事会、セクションプレジデントなどが2010年5月までに発足する予定で、現在の体制はあくまでも立ち上げのための暫定的なものです。

なお、会費は1年当たり2000円ですが、連合大会に参加される方は、通常の参加費から会費分が減額されるという特典が与えられることになっています。旧連合に登録されている方々も改めて登録が必要です。

大気海洋・環境セクションには、3月19日時点で614名の登録があり、セクション別の登録数順位では第2位（固体地球科学の1489名、地球惑星科学の564名等）となっています。しかしながら、当初目標とした全登録数1万人に対し、現在の全登録数は3483名と約1/3で、強固な体力を持った組織作りにはまだほど遠い状況です。2009年10月には登録会員による代議員選挙（8月公示）があります。このような状況をご理解いただくと共に、大気海洋・環境科学に関する総合的な議論のための新たなプラットフォームを作るために、今一段と会員登録にご協力いただきたいと思います。会員登録は連合のウェブページ (<http://www.jpгу.org/>) から行うことができます。よろしく願います。

（地球惑星科学連合 大気海洋・環境セクション

暫定プレジデント 中島映至

暫定バイスプレジデント 津田敏隆，花輪公雄）